

# (株)中北製作所の事業基盤強化計画(抜粋)

## 企業概要

- 1930年の創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等向けバルブを中心とした流体制御システムを提供。
- 顧客仕様に適合した適切な品質(Q)の製品を、適切なコスト(C)で、適切な納期(D)に納入することを方針として取り組み、船用バルブ及び制御装置を中心とした荷役関連の製品をパッケージで納入し、ワンストップ対応が可能な点を高く評価されている。
- 荷役関連の監視・制御装置は船の運航に直接影響がないため『便利ツール』的な要素が強いが、近年、船員法等の改正による船員の働き方改革の機運が高まり、ニーズの拡大が期待される。



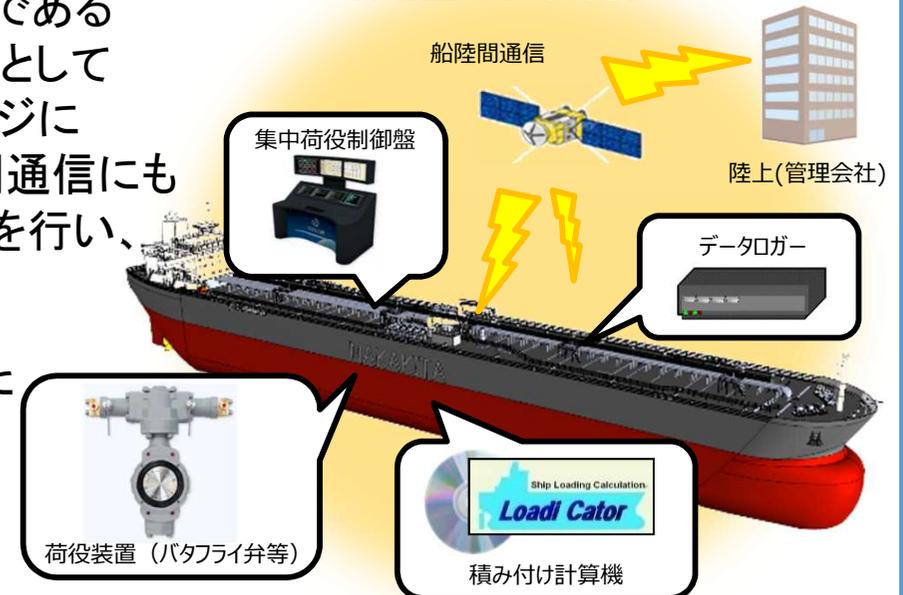
## 計画の概要

- 内航船員の長時間労働や時間外労働の主たる原因の一つである荷役作業の負担を軽減するために、システムインテグレータとして集中荷役制御盤や積み付け計算機などをひとつのパッケージにまとめ、データロガーによるデータ収集・活用に加え、船陸間通信にも対応した「データ活用型次世代荷役システム」※の技術開発を行い、荷役装置のシステムの拡販を図る。
- さらに、データ収集により得られる荷役作業データを活用した若手乗組員の教育およびベテラン乗組員の復習教材となる荷役シミュレータを開発する。

<計画実施期間> 2023年6月～2028年5月

<実施場所> (株)中北製作所 本社工場(大阪府大東市)

## データ活用型次世代荷役システム※



※(株)いのくま、(株)ケーイーアイシステムとの共同開発